

大規模イベント時の感染症対策

～参加前に知っておきたい大切なこと～

監修 枚方市薬剤師会

感染症とは？

ウイルスや細菌などの病原体が原因

ウイルス、細菌などの病原体が体内に侵入し、発育又は増殖することを「感染」といい、その結果、発熱・咳・嘔吐・下痢・発疹などの症状がでることを「感染症」といいます。病原体の種類も、感染経路もさまざまですが、病原体の体内への侵入経路を遮断することが「感染予防」につながります。

感染症はどのように広がっていく？

感染症を起こす病原体は、多くの場合、人を介したいくつかのルートで広がっていきます。



飛沫感染

咳、くしゃみや
会話による飛沫を
吸い込んで



空気感染

空気中に広がった
病原体を吸い込んで



接触感染

病原体のついた
手で口、鼻、目を
さわって



経口感染

病原体を含んだ
食べ物や飲み物を
口にして



その他

血液、塵埃や昆虫・
節足動物（蚊・ダニなど）
などから

※感染症の種類によっては
複数の感染経路をとるもの
があります。

「日頃からできる感染症対策」は中面をチェックしましょう▶▶▶

イベント開催時は感染症に注意!

近年、博覧会やスポーツイベント、音楽フェスティバルなど、さまざまな大規模イベントが開催されています。

このように、多くの人が集まる場所で何らかの感染症にかかっている人がいると、感染症が予想を超えて広がるリスクが高まります。

新型コロナウイルス感染症のように、海外で流行している感染症が人々の移動によって国内に入ってくることもあるため、注意が必要です。

日頃からできる感染症対策

感染症を防ぐには、感染症の原因に近づかない、感染経路を遮断する、免疫力の向上が大切です。

そのため、日頃から**手洗い**、**(場面に応じた)マスクの着用**や**咳エチケット**、**体調を整えること**、**予防接種**などで対策しましょう。

手洗い



よく手をぬらした後、石けんでしっかり洗い、十分な水で流しましょう。洗い残しのないように、ていねいに洗いましょう。

マスク
・
咳エチケット



人が多く集まる場所や感染症が流行している時には、病原体を飛び散らせたり、吸い込んだりするのを防ぐためにマスクを着用しましょう。マスクがない時は、ティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえましょう。

体調を
整える



体調が悪いと免疫力が低下します。食事と睡眠をしっかりとって、体調を整えましょう。

予防接種



病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、必要に応じてワクチンを接種することも検討しましょう。

特に注意すべき感染症

以下の感染症は、感染力が強く重い症状が現れることがあります。
大規模イベント時に集団発生するリスクが高く、特に注意が必要です。

感染症と症状

感染症	症状
麻しん(はしか) ¹⁾	発熱、咳、鼻水、目の充血、発疹など。 発熱後に耳の後ろ、首から額に発疹が 出現し、その後に全身に広がる。
インフルエンザ ¹⁾	発熱、倦怠感、食欲不振、関節痛、筋肉痛、 咽頭痛、鼻汁、咳など。
新型コロナウイルス 感染症 ¹⁾	発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、 消化器症状、鼻汁、味覚異常、嗅覚異常 など。
風しん (三日ばしか) ²⁾	発熱、発疹など。 成人は小児より重症化することがある。
デング熱 ³⁾ 、注)	突然の発熱、頭痛、目の奥の痛み、筋肉痛、 関節痛など。 食欲不振、便秘を伴うこともある。
髄膜炎菌感染症 ⁴⁾	発熱、関節炎、頭痛、吐き気、精神症状、 発疹など。劇症型ではショック状態で 死亡する場合もあり、死亡率は10-15%。
ノロウイルス 感染症 ¹⁾ 、注)	嘔吐、下痢。 脱水を合併することがある。

- 1) こども家庭庁：保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版)。
2018年3月(2023(令和5)年5月一部改訂)<2023(令和5)年10月一部修正>
- 2) 国立感染症研究所：職場における風しん対策ガイドライン(平成26年3月).p3
- 3) 出典：「デング熱(詳細版)」(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト)
(<https://id-info.jihns.go.jp/diseases/ta/dengue/010/index.html>)を加工して作成
- 4) 出典：「髄膜炎菌性髄膜炎」(関西空港検疫所)
(https://www.forth.go.jp/keneki/kanku/disease/dis03_10men.html)を加工して作成
- 注) 2025年9月現在、日本で接種可能なワクチンはありません。

イベント参加時の注意点

- ✓ 体調が良くない時は、参加を見合わせましょう。
- ✓ マスクは持参して、必要な時に着用しましょう。
- ✓ こまめな手洗い、アルコールなどによる手指消毒を徹底しましょう。
- ✓ ハンカチ・タオルは共用せず個々に使いましょう。

感染症が疑われる場合

ほとんどの感染症は、感染してもすぐに症状は現れません。

イベント後に体調を崩し、感染症を疑う症状が現れた時は、すみやかに医療機関を受診しましょう。

イベント会場で体調を崩したら？

大規模イベント会場では、多くの場合、救護室などが設置されています。事前に場所などをチェックしておくとういでしょう。



抗菌薬・抗ウイルス薬は適切に服用しましょう！

抗菌薬・抗ウイルス薬の正しい飲み方

必ず医師、薬剤師の指示通り飲み切りましょう

- ✓ 抗菌薬は細菌感染症(溶連菌感染症、中耳炎、尿路感染症など)には効きますが、ウイルス感染症(ウイルス性上気道炎、インフルエンザなど)には効果はありません
- ✓ 抗生物質は抗菌薬の一種です
- ✓ 余ったおくすりをとっておいて、あとで飲まない
- ✓ あげたりもらったりしない
- ✓ わからないことは医師や薬剤師に聞きましょう



本資材は、枚方市と塩野義製薬株式会社の「感染症対策の支援・啓発」に関する連携協定に基づき作成いたしました。

枚方市/一般社団法人枚方市薬剤師会/塩野義製薬株式会社

ALL-DTC-0024 (V01) 審686150
2025年10月作成 MX